

第1回 なにが／どいつする・どんなだ

考え方

主語・述語は、くわしくは二年生で学習します。やや発展的な内容のため、「花は」と答えるべきところを「花」と答えていたり、「いもうとが」と答えるべきところを「ぼくのいもうとが」と答えていたりするかもしれませんが、まずは、その言葉に着目できたとことをほめてあげましょう。

また、述語については、まずは主語を見つけてから、「その主語に対応するもの」という意識で探すようにアドバイスしてあげましょう。

答え

- | | | | | | |
|---|-------|--------|--------|------|------|
| ① | 花は | 2 | いもうとが | 3 | ちようが |
| ② | あそんだ | 2 | ふる | 3 | おいしい |
| ③ | (なには) | きようしつは | (どんなだ) | しずかだ | |
| | (なにが) | かぜが | (どう) | する | ふく |
| | (なには) | ふくは | (どんなだ) | かわいい | |
| | (だれは) | ぼくは | (どう) | する | した |
| | (だれは) | おとうさんは | (どんなだ) | やさしい | |

第2回 雨・口・耳・立

考え方

「**やって みよう**」は、一年生で習う漢字として「目・耳・口・手・足」を答えとしていますが、二年生以上で習うものを答えていてもかまいません。

答え

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|
| ① | 耳 | 2 | 立 | 3 | 雨 | 4 | 人口 | 5 | 立 |
| ⑥ | 雨 | 7 | あま | 8 | く | | | | |

【例】 やって みよう の答え

【例】 目・耳・口・手・足

第3回 ものを かぞえる こじば

考え方

身近なものの数え方(助数詞)を学習します。ものによって数え方が異なることを知り、数え方に興味をもってもらえるようにしましょう。多くの動物が「くひき」「くとう」と数えるのに対して、うさぎは「くわ」と数えるなど、少し特殊な数え方も教えてあげるとよいでしょう。

答え

① 19ページ参照

② 1 つ 2 だい 3 かい 4 ぜん

③ 1 三人 2 二まい 3 一けん

④ 【例】 ぼくは、えんぴつを五本かいます。

【例】 かさを一本もって出かける。

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくはこちら!

Z会の本



かっこいい小学生になろう